

とうほく街道会議 第10回交流会
関山街道フォーラム 別冊報告書
～ 参加者状況とアンケート結果～



平成27年 3月

関山街道フォーラム実行委員会

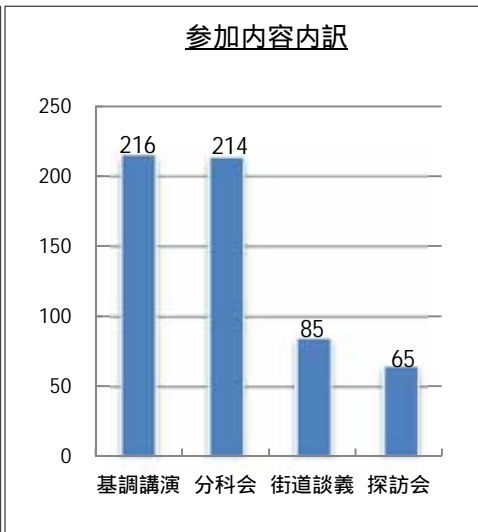
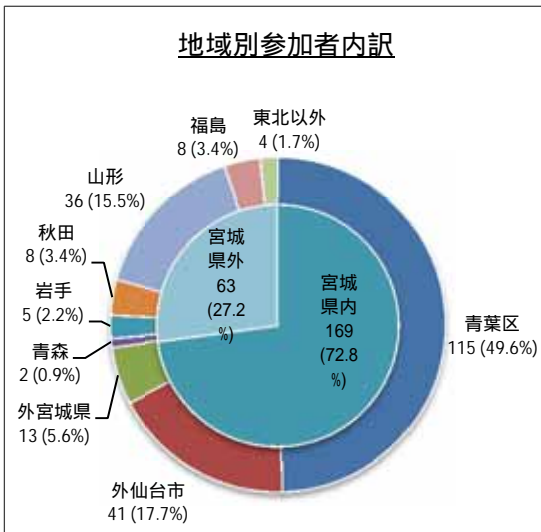
(6) 参加者の状況

- 1) 参加者の状況は、次の表及び図に示すとおりです。
- 2) 参加者数では、第1日目(交流会第一部及び第二部)221名(街道談義のみ参加3名含む)、第2日目(探訪会)65名、2日間合計232名(延べ286名)の参加がありました。
- 3) 地域別には、宮城県内が169名(73%)、うち仙台市156名(67%)であり、県外から63名(27%)の参加がありました。
- 4) これまでの大会と比べると、県内及び県外もほぼ平均的な参加者数となっています。

とうほう街道会議第10回交流会 関山街道フォーラム 参加状況内訳

開催内容	参加者数	地域別内訳											備考		
		宮城県内				東北各県								東北以外	
		仙台市	青葉区	外宮城県	青森	岩手	秋田	山形	福島						
交流会第一部	218	156	144	106	12	58	2	5	8	35	8	4	来賓含		
基調講演	216	154	142	104	12	58	2	5	8	35	8	4	講師含		
	分科会	土の道	123	82	73	56	9	41	2	1	4	27	7	0	出演者含
		鉄の道	91	70	68	48	2	17	0	4	4	8	1	4	同上
交流会第二部[街道談義]	85	51	45	36	6	33	1	5	8	17	2	1	出演者等含		
探訪会	65	53	45	32	8	12	0	5	2	5	0	0			
土の道	32	29	22	15	7	3	0	0	2	1	0	0			
	鉄の道	33	24	23	17	1	9	0	5	0	4	0	0		
参加者計 1)	232	169	156	115	13	59	2	5	8	36	8	4			
うち宿泊者数	47	20	14	8	6	26	1	5	6	12	2	1	出演者含		

1) 参加者計はダブルカウントなし。



H26.11.9
河北新報

鉄道愛し愛されて 仙山線・関山街道から交流考える

宮城、山形県を結ぶ仙山線。仙台市と山形県を結ぶ仙山線(国鉄仙山線)とJR仙山線を通じて両県の歴史・文化・産業の交流が盛んに行われている。仙山線沿線の歴史や、仙台市と山形県との交流の重要性について述べている。

14日・作並温泉でフォーラム

仙山線沿線の歴史や、仙台市と山形県との交流の重要性について述べている。

H26.11.15
河北新報

関山街道 仙山線の要

仙山線の歴史や、仙台市と山形県との交流の重要性について述べている。

仙山線の歴史や、仙台市と山形県との交流の重要性について述べている。

(7) 参加者アンケート集計結果

1) 交流会第一部(基調講演、分科会)

大会開催は、7割強が所属団体・職場等を通じて知ったと答えています。
 基調講演は、「大変良かった」・「良かった」が9割となっています。
 なお、「どちらとも言えない」及び無回答者の5名のうち4名は県外からの参加者でした。
 土の道分科会は、「大変参考になった」・「参考になった」が9割半ばとなっています。
 なお、「どちらとも言えない」の回答者は1名で特にコメントは記していませんでした。
 鉄の道分科会は、「大変参考になった」・「参考になった」が7割半ばとなっています。他は無回答者です。
 自由記述では、以下の感想がありました。

基調講演	街道と宿場の発達や街道の持つ意義について、新たな視点から有意義であったとの感想が多くありました。特に、災害と街道・宿場については、歴史を学ぶ意義や重要性を指摘する感想が複数ありました。
土の道分科会	関山峠に隧道が出来た(ルートが決まった)理由や土木技術の進歩と街道の変遷が分かったと言う感想でした。また、三島通庸の事績を見直すべきとの意見もありました。
鉄の道分科会	仙山線の歴史や利活用・保存に関して、感銘や示唆を受けたとの感想がありました。また、時間が短かった。昔の話を聞くイベントの開催を希望する意見もありました。
パネル展	内容に感銘した等感想のほか、内容充実や時間・場所に関する意見がありました。
その他	改めて歴史を学んだ有意義な企画等の好意的な感想が多かったが、魅力向上のため街道を往来した歴史的人物の足跡を取り上げるべきとの意見もありました。

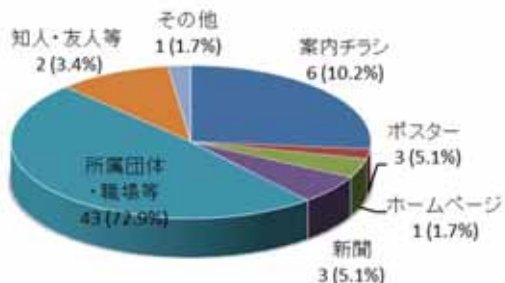
●純参加者数：165名(出演者・スタッフ除く)

●回答者数：48名

●回答率：29.1%

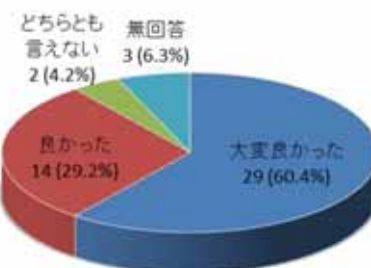
※問3は、あなたはどの「分科会」に参加されましたか？

問1 開催を何でお知りになりましたか？
(複数回答)



7割強が所属団体・職場等を通じて知ったと答えている。

問2 「基調講演」の内容はいかがでしたか？



「大変良かった」・「良かった」が9割となっている。以外の5名のうち4名は県外からの参加者である。

問4① 「土の道分科会」の内容は如何でしたか？



「大変参考になった」・「参考になった」が9割半ばとなっている。

問4② 「鉄の道分科会」の内容は如何でしたか？



「大変参考になった」・「参考になった」が7割半ばとなっている。

2) 土の道探訪会:「定義如来への落人伝説コース」

探訪会内容は全員が良い評価をしています。

印象に残った場所として、ホトギス塚が最も多く、捻木道、小倉神社、熊ヶ根城跡を複数者があげています。

自由記述では以下の感想がありました。

- ・これまで無意識や見逃していた遺構などの認識を新たにした等の感想が多くありました。
 - ・“良かった、面白かった”の外に、手づくりの探訪会を評価する感想も複数ありました。
 - ・ガイド及び前住職の説明を評価する感想が複数ありました。
- 一方、以下の意見もありました。
- ・もう少し歩きたかったという意見が複数。
 - ・説明が長かったという意見の一方で、詳しく知りたいという意見。
- 今後への期待に関するものとして、以下の意見もありました。
- ・今後も探訪会開催を期待するが意見が多くあり、具体には関山街道・古道、秋保街道などをあげています。

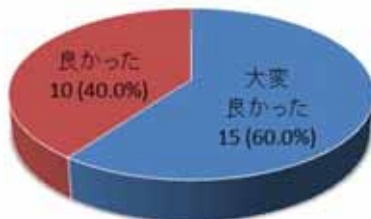
参加者数: 32名(スタッフ含み)

回答者数: 25名

回答率: 78.1%

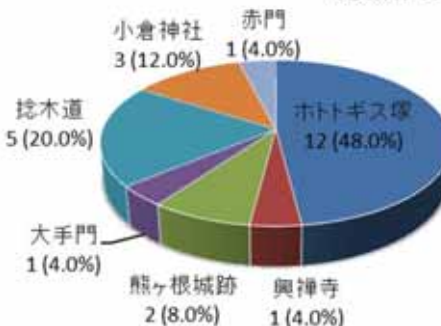
問1は、「あなたはどの探訪会コースに参加されましたか？」

問2 内容は如何でしたか？



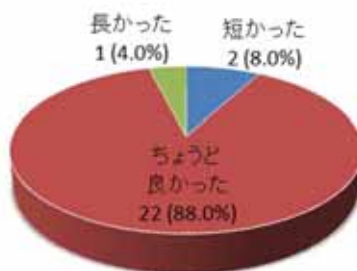
全員が大変良かった・良かったと評価している。

問3 一番印象に残った場所はどこでしたか？ (複数回答を集計)



ホトギス塚が最も多く、捻木道、小倉神社、熊ヶ根城跡を複数者があげている。

問4 所要時間は如何でしたか？ (9時～15時)



9割がちょうど良かった、1名が長かった、2名が短かったと答えている。

問5 参加費は如何でしたか？ (参加費 3,000円/人)



8割が適当、3名が高い(1,000or2,000円)、2名が安い(金額記載無し)と答えている。

3) 鉄の道探訪会：「仙山線の鉄道遺産コース」

探訪会内容は全員が良い評価をしています。

印象に残った場所として、転車台(うち山寺のみを明記2、作並・山寺を明記1、明記なし2)が最も多く、ラサンタの展示・説明及び山寺を複数者があげています。

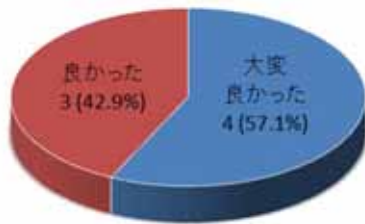
自由記述では以下の感想がありました。

- ・新しい見知を得たことや山寺の説明及び新名所を案内について評価する。
 - ・専門家の説明や昔の利用者との意見交換を評価する。
 - ・立石寺住職の説明を評価する。
- 一方、以下の意見がありました。
- ・山寺の保存が大切。
 - ・コースにニッカ工場を組み込むと良い。

参加者数：33名、昼食時点は26名(スタッフ含み) 回答者数：7名 回答率：26.9%(対昼食時点参加者)

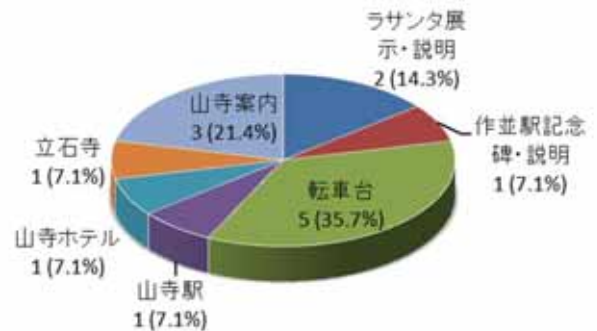
問1は、あなたはどの探訪会コースに参加されましたか？

問2 内容は如何でしたか？



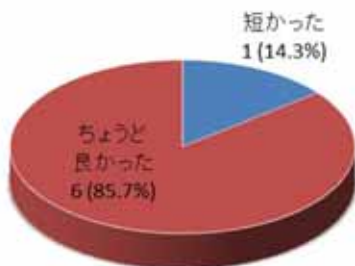
全員が大変良かった・良かったと評価している。

問3 一番印象に残った場所はどこでしたか？
(複数回答を集計)



転車台(うち山寺のみを明記2)が最も多く、ラサンタの展示・説明及び山寺を複数者があげている。

問4 所要時間は如何でしたか？
(9時～15時)



ほぼ全員がちょうど良かった、1人が短かった(特にコメント無)と答えている。

問5 参加費は如何でしたか？
(参加費 1,500円/人)



全員が適当と答えている。